

〔国際会議開催〕

申請者	大阪大学大学院基礎工学研究科 助教 酒田 信親	2165007
国際会議名称	The 4th ACM Symposium on Spatial User Interaction (SUI2016)	
開催期間	2016 年 10 月 15 日～10 月 16 日	
開催場所	一橋大学一橋講堂(東京都千代田区)	
申請者の役割	Sponsorship Chair	

概 要：

SUI2016 の目的は、今後の普及が期待される Virtual Reality や Augmented Reality (拡張現実感) 分野において、Web などのサイバーワールドと、我々が活動する現実世界をインタフェースとインタラクションを通じてシームレスに繋ぐ研究の発表機会を提供すると同時に、同技術分野の研究推進を振興することである。現在の最先端の VR や AR の研究分野では、頭部装着型ディスプレイである HMD (Head Mounted Display) を用いたインタフェースだけでなく、プロジェクタやタブレットなどの 2 次元表示インタフェースと現実の三次元空間と物体などを組み合わせた Spatial User Interface が注目されている。特に現実世界の機械やロボットとサイバーワールドを繋ぐことで人間と機械の協調的なインタラクションを実現することは重要であると考えられており、この分野の先駆的な挑戦の数々が SUI2016 で発表された。

本会議では、77 件の論文投稿があり、1 件につき 4 名の査読審査委員より審査され、最終的に 20 件 (フルペーパー 13 件, ショートペーパー 7 件) の論文が採択された (採択率 26%)。採択された論文は、会議 Proceedings として発行されると同時に ACM デジタルライブラリに登録された。また、ポスターは 26 件の発表、デモは 5 件の発表があった。これまでの SUI は、米国のみで開催されていたためデモは米国内の研究機関のものが主であったが、今回は日本の研究機関や企業からのデモも出展され、日本の潜在的技術力の高さを示せたとも言える。